

2010年2月23日開催 第545回 番組審議会

■ 出席委員

荒巻裕委員長（書面参加） 櫻井美幸副委員長 上田理恵子委員 神谷徹委員
國定浩一委員 黒田勇委員 岸本卓也委員 東野博昭委員

■ 毎日放送出席者

山本会長 河内社長 田中専務 上田専務 松島常務 河村編成局長
寺西制作局長 熊ラジオ局長 梅本報道局長 立野コンプライアンス室長
田中プロデューサー

◆ テレビ番組「となりのマエストロ」について

第545回番組審議会は2月23日に開かれ、テレビ番組「となりのマエストロ」について意見交換しました。

委員の主な意見は次の通り。

- * 外の社会と家族をつなぐキャラクターを1人設けて、たくさんの家族をもう少し整理すれば、家族の形がもっとすっきりするのではないか。
- * 疑似家族を想定した人たちがみんな「へえ」と思い、その反応でまた視聴者を笑わせたり、なごませたりするという2段階の企画と工夫が必要。
- * マエストロの存在が時おり目障り。語りかけを視聴者に向けてほしい。
- * すごく練習したけど、やっぱりあの人には負けるという状態だったらいいが、初心者が負けて、やっぱり難しいですねと初心者が言うのは失礼なこと。
- * ネタはいいが、取り上げ方がもうちょっと興味を引くようなやり方を工夫できないか。
- * 志村けん一人で人を引きつける力、魅力。これが圧倒的。
- * マエストロが紹介する以上は、マエストロ自身の魅力も伝えてもらわないと、せっかく取材しているのに面白さが伝わりにくい。
- * どれだけ生活に根ざした着想と面白い現場を掘り起こせるかがカギとなるのではないか。

◆ IPサイマルラジオについてラジオ局長が報告した。